

◎サポーターほっとニュース

「サポーターほっとニュース」では、障がい者サポーターとして登録された方の活動や、サポーター制度への期待を込めたコメントやお話などの情報を紹介していきます。

大変お待たせしました！第12回目は、2月に開催した「障がい者サポーターワークショップ」と、3月に開催した「障がい者サポーター研修会」の様子をレポートします。

【第12回】 障がい者サポーターワークショップ & 車いす体験 ～障がい者サポーター研修会～ レポート

◆（2月7日）障がい者サポーターワークショップ

障がい者サポーターの皆さんと障がいのある方が一緒にお話していただくことで、さらに障がいについて理解を深めてもらおうと、「障がい者サポーターワークショップ」を開催しました。当日は、障がい者サポーターの皆さんと、肢体不自由や視覚障がい、聴覚障がいなどの身体障がいや、うつなどの精神障がい、知的障がい、発達障がい、難病など、様々な障がいのある方やそのご家族に集まっていただきました。

日頃から障がいのある方からの生活相談などを受けている、相談支援事業所の相談員の皆さんに進行役をお願いし、グループ毎に意見交換を行います。

障がいのある方がお店や行政の窓口などで困った経験や、それを改善するための方法、障がい者サポーターがお手伝い出来ることは何か、といったことをテーマに、時には笑いも交えて和やかに、活発に意見が出されました。

▼皆さんとても熱心に意見交換をされていました。



最後に、それぞれのグループで出た意見を皆さんに発表していただきました。意見の中には、その障がいならではの悩みや困り事もあり、障がいのある方からも、「自分とは別の障がいのことを知ることができて、とても勉強になった」という声が聞かれました。

今回、障がいのある方の生の声を聞いたことが、今後のサポーターの皆さんの活動の助けになってくれることを期待しています。



▲話し合いの成果を発表します。

◆（3月7日）車いす体験 ～障がい者サポーター研修会～

今回の研修会では、「車いすを体験してみよう」と題して、実際に車いすを使っの体験学習を行いました。車いすを利用している方がどのような不便を感じていらっしゃるのかや、安心して乗ることが出来る介助の方法を実践で学びます。

講師には、特定非営利活動法人 自立生活センター ヒューマンネットワーク熊本から、日隈辰彦（ひのくまたつひこ）さん他4名の方においでいただきました。

ペアを組んで、講師の方から車いすの基本的な扱い方を学んだ後は、いよいよ街へ繰り出します！普段歩いているときは気が付かないものですが、歩道や横断歩道は思ったよりも段差や凸凹、傾きがあり、なかなかスムーズに前に進めません。また、他の歩行者や自転車、車にも気をつけながら進まなければならず、参加した皆さんは、慣れない車いすに「これは大変だ！」と、悪戦苦闘されていました。



▲まずは車いすの扱い方を学びます。



▲階段では皆で力を合わせて！

■■ 参加者のご意見（アンケート回答より） ■■

- ・車いすに乗って歩道を往来して、介助していただくこと、声掛けによる安心感をすごく感じました。介助する側、される側と両方の立場を少々ですが理解できました。
- ・車いすの体験の時間はとても勉強になりました。短いはずの道のりがいつもより長く感じ、介助するときも自走するときも体力が必要だと思いました。また、注意力や集中力も必要だと感じました。
- ・今日の体験を少しでも周りの人に伝えていけたらと思います。聞くだけではなく広げていけるよう勇気を持って心掛けたいです。

Topics

サマーほっとクラブ・ボランティア募集中！

熊本市では、小中学校や特別支援学校に在籍する障がいのある子どもたちを対象に、毎年夏休み期間中の日中預かり事業、「**サマーほっとクラブ**」を実施しています。

障がいのある子どもたちが家に閉じこもりがちになることや生活リズムが崩れることを防止し、また、家族の介護負担軽減を図ることを主な目的としています。

この事業の実施にあたり、**ボランティアとして協力していただける方を募集します！** 詳しくは、別紙チラシをご覧ください！